

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-308600

(P2000-308600A)

(43)公開日 平成12年11月7日 (2000.11.7)

(51)Int.Cl.⁷

A 4 7 K 11/10
A 4 7 L 25/00

識別記号

F I
A 4 7 K 11/10
A 4 7 L 25/00

テ-ヤロ-ト^{*}(参考)
2 D 0 3 6
Z

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 2 頁)

(21)出願番号 特願平11-121009

(22)出願日 平成11年4月28日 (1999.4.28)

(71)出願人 592107808

猪村 吉尋

北海道室蘭市知利別町2丁目22番地16

(72)発明者 猪村 吉尋

北海道室蘭市知利別町2丁目22-16

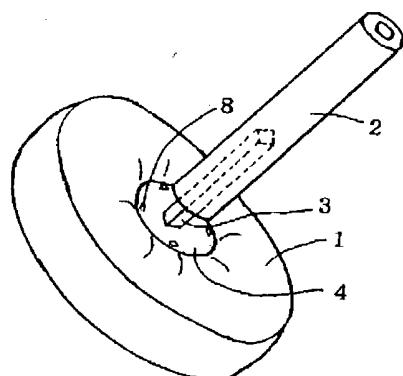
Fターム(参考) 2D036 BA51 DA22

(54)【発明の名称】 便器掃除回転ブラシ

(57)【要約】

【目的】水洗便器の、放水路は逆U字溝となっていて、掃除が困難とされている所を、簡単に早く掃除をして、異臭をなくすことを目的とする。

【構成】回転の遅い、市販の電動工具の、ドライバーとなっている角棒を、継ぎ具となっているゴム管2の中に刺しこみ、回転させながら掃除が困難とされている所を、簡単に早く掃除が出来る、回転ブラシである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】軸棒3を角棒とし、その先にはゴムワッシャー4を取り付け、そのワッシャー4には継ぎ孔8を複数個設けて、ブラシ材1をもう一枚の挟みワッシャー5によって挟み、ブラシ材固定ネジ6で締め付けると、同時にワッシャー継ぎ棒7を継ぎ孔8の同数だけ、刺し込み固定する、なお軸棒3の反対側にはゴム管2を設ける。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、便器の掃除を従来の用具では困難とされている所を、簡単に早く確実に掃除が出来て、異臭を防ぐ事が出来る、電動工具に取り付ける回転ブラシに関するもの。

【0002】

【従来の技術】従来便器の掃除用具の種類は数多くあるが、水洗便器の特徴として、水を放出する所が逆U字溝になっていて、見えない場所でもある、そんな所を掃除する用具もなく掃除が出来ない、従って手袋をはいて指を入れて掃除をしている。

【0003】指を入れて掃除しても逆U字溝の中は見えないため、完全な掃除が出来ない、又、一般の家庭では、手袋をはいても指を入れる人は少ない、従って年数がたつに連れて異臭が悪臭に変わっていく。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】逆U字溝は見えない所でもあり、掃除に時間がかかる、また手袋をはいても指を入れるのが、いやな人もいる、しかし掃除をしなかったり、いい加減にしておくと、黄ばみが蓄積して、皆さんも経験が有るように、鼻を突くような悪臭になる。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、水洗便器全て

の掃除に、回転が遅い水滴が飛び散らない、市販の電動工具を使い、それにこの回転ブラシを取り付けて、図3、図4、で示すように、従来掃除の困難な所に、簡単に入り込んで早く掃除が出来るようにした。

【0006】

【作用と実施例】丸型のブラシ材はスポンジとかへチマと言った多種類の材質を用いるようにして、取り付け、回転ブラシの軸を角形にして、ゴム管を取りつけ、便器に対する保護と、電動工具の継ぎ手とした、なお電動工具を使って狭い所を掃除する時などは、両手で電動工具を持って電動工具の力に逆らうようにすることで、確実に早く掃除を実施することが出来る。

【0007】

【発明の効果】以上説明したように従来は掃除が困難とされていた所に、簡単に入り込んで掃除が出来るため、早く確実に楽に、掃除が出来るようになった。

【0008】この回転ブラシは両面を有効に使えるので、万が一回転が止まっていても使用することが出来る。

【0009】時間をあまりかけずに、黄ばみも出さずに、異臭をなくすことが出来た。

【0010】

【図面の簡単な説明】

【図1】全体斜視図

【図2】ブラシ材側面断面図

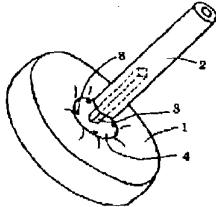
【図3】使用実施例断面図

【図4】使用実施例一部断面図

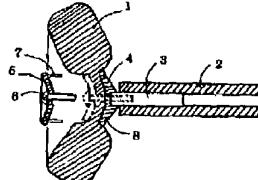
【符号の説明】

1、ブラシ材 2、ゴム管 3、軸棒 4、ゴムワッシャー 5、挟みワッシャー 6、ブラシ材固定ネジ 7、ワッシャー継ぎ棒 8、継ぎ孔

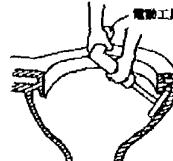
【図1】



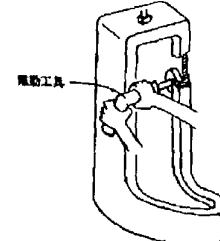
【図2】



【図3】



【図4】



DERWENT-ACC-NO: 2001-046140

DERWENT-WEEK: 200106

COPYRIGHT 2004 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: **Rotary cleaning brush for toilet fixture has**
clip washer
which attaches brush material by being pinched
to other
surface side of brush material and fastening of
screw
into rectangular shaft

PATENT-ASSIGNEE: IMURA Y[IMURI]

PRIORITY-DATA: 1999JP-0121009 (April 28, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2000308600 A	November 7, 2000	N/A
002 A47K 011/10		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2000308600A	N/A	1999JP-0121009
April 28, 1999		

INT-CL (IPC): A47K011/10, A47L025/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000308600A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A rubber washer (4) is attached to the point of a rectangular shaft (3) inserted into a rubber tube (2). A brush material (1) is attached to the rubber washer by pinching a clip washer (5) to the other side of the brush material. The splice rods (7) of the clip washer are inserted into the holes (8) of the rubber washer, after which a screw (6) is fastened in the clip washer and screwed into the shaft end.

USE - For use in cleaning toilet fixture.

ADVANTAGE - Enables simple and quick cleaning of predetermined section of toilet fixture even in a place that is difficult to clean. Enables eliminating offensive smell on toilet fixture without producing yellowish color on toilet fixture, after cleaning the toilet fixture.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the side sectional view of rotary cleaning brush.

Brush material 1

Rubber tube 2

Rectangular shaft 3

Rubber washer 4

Clip washer 5

Screw 6

Splice rods 7

Holes 8

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/4

TITLE-TERMS: ROTATING CLEAN BRUSH TOILET FIX CLIP WASHER ATTACH BRUSH MATERIAL

PINCH SURFACE SIDE BRUSH MATERIAL FASTEN SCREW RECTANGLE SHAFT

DERWENT-CLASS: P28

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2001-035245